

(仮称) 新リサイクルセンター整備工事説明会 実施報告

- (1) 開催日時 【1回目】令和8年1月16日(金)午後6時30分～7時20分 【2回目】令和8年1月17日(土)午前10時00分～11時24分
 (2) 開催場所 ふじみ衛生組合 3階研修ホール
 (3) 参加者数 【1回目】7人(うちオンライン参加1人) 【2回目】11人(うちオンライン参加1人)
 (4) ご意見、ご質問 13件

No.	質問・意見の概要	組合の回答
1	説明会資料を全部読むのが大変。QRコードで読めるようになっているのか。	現時点ではQRコードによる読み込みができませんが、今後、可能性について検討し、できる限り対応していきたくと思っています。
2	ホームページで読めるようにできないか。	本資料についてホームページに掲載します。(1月16日時点で既に掲載済)
3	お年寄りや子どももわかるように、サマリー版がほしい。	対応可能と考えているので、対応させていただきます。
4	東八道路の歩行者帯と自転車帯が分かれているのに守られていない。工事が始まると危ないと思う。警察や役所がやることだと思うが、事故が起きる前に見やすいような看板を作るとか、組合から警察や役所に応援を頼んで注意を払いたいと思う。例えば500mくらい注意看板を設置するとか、明かりをつけるとか。	ふじみ衛生組合だけでは対応が難しいので、道路管理者、交通管理者と今後協議を行い、看板等設置できるものは設置したいと思っています。
5	ふじみ衛生組合インフォメーション2025について。予算の話が出ている。予算の出所。税金でやっているのか、市や都、国から出されているのか。内訳を知りたい。建設費の総事業費や各年度の事業費も知りたい。ホームページなどで明らかにしてほしい。「分担金及び負担金」では、意味がわからないので、市民にもわかりやすい言葉にしてほしい。そのような用語をホームページなどで分かりやすく説明してほしい。	本日の資料の中で、ふじみ衛生組合インフォメーション2025の4ページに令和7年度予算が掲載されています。歳入の税金の部分は、「分担金及び負担金」であり、これが三鷹市と調布市からいただいているお金です。このお金のもとは税金です。国からの建設費に対する補助は、国庫支出金が該当し、事業費の3分の1が補助されます。このほか、組合債によりお金を借りています。組合債は将来返済をしていくこととなります。「分担金及び負担金」や「組合債」という文言は、全国統一の文言なので表現を変えることはできませんが、解説は必要と思いますので、3月に発行する広報ふじみ衛生組合に解説を加えることとします。広報ふじみ衛生組合はホームページにも掲載するので、ホームページでも読むことができます。
6	監理体制についてわかる範囲で教えてほしい。JFEエンジニアリング株式会社で監理しているとのこと。どのように監理しているのか。	ふじみ衛生組合の職員が工事監督員となります。専門技術的な部分もあるので、ふじみ衛生組合からコンサルタントへ委託をし、建設的なこと、プラント技術的なことなどに関してコンサルタントとともに管理していきます。工事監理については、組合からJFEエンジニアリング株式会社に委託しています。報告書はふじみ衛生組合にて管理しています。
7	土木工事とか、いまやっている部分について公表してもらえるのか。設計、プラント本体の考え方は事後ではなく計画の段階から入っているので、具体的に何をどうするのかということは前提として入っている。その検証を建設前にしたい。心配しているのは、完成後、品質管理という意味合いから計画したものがそのまま乗っかるのか、安全対策として管理ではなく監理の仕事である。それを組合で管理しているというのはおかしいのであって、都や国に抵触している、していないを含めて管理されるはず。そのへんがわかれば今既に終わっているものがあるならその報告書をプラントの体制として捉えることはできるが、出してみないとわからないというならもう遅い。個々の工程ごとに検査を行っていると思うが、市民が感じ取れていれば品質に問題ないかと思うが、そうでなければ過去の話になってしまうので、どうしても避けたい。いま、30年に一度のチャンスなので、30年まえの状況と、今の状況と、30年後の状況が対象になっている。30年後に時代遅れだったとならないようにしてほしい。監理者が第三者の立場でチェックするのが望ましい。管理としてやったかやらないかではない。監理の話である。	設計・施工監理業務については、一般財団法人日本環境衛生センターに委託しており、現在設計協議を行っているところですが、設計図面が一つひとつ出てくるたびに図面をチェックして、問題ないか確認しています。ここで問題なければ、プラントを工場で作成するようになります。工場で作成したものが、現場で設置してから処理能力が発揮できないということになると、手戻りが生じてしまいますので、重要なものにつきましては、ふじみ衛生組合と日本環境衛生センターが工場へ行き、工場のなかで性能が発揮されているか否かの検査を実施します。この検査に合格したものをふじみ衛生組合へ持ち込み設置することになります。また、設置後に引渡性能試験を実施し、機械が処理能力や公害防止基準などを満足しているのかなど、すべてチェックして合格すれば引き渡しを受けることとなります。また、今回の事業につきましては、DBM方式といい、「設計」、「施工」、と「メンテナンス」も含めた契約となっているので、使用しているうちに不具合が生じた場合には、修繕等を行っていただく内容となっています。

No.	質問・意見の概要	組合の回答
8	クリーンプラザふじみ稼働後に水銀が出たというトラブルの実績がある。新リサイクルセンターは人の手で破袋する。可燃ごみと大きく違う点がある。新リサイクルセンターは、旧リサイクルセンターと比べ課題をどう改善していくか。焼却炉と違う観点で見なければならぬ。広報ふじみ衛生組合には自分の手で開いている写真がある。不燃ごみと言ってもいろんなものが入ってくる。ごみの品質を高めるための話しが一切ない。新施設を作る前に実態調査をすべき。品質管理の点からも監理業務でやることを表に出して、住民がわかるような形にしてほしい。半径500m以内の住民からすれば、もっと突っ込んだ話をしてほしい。	焼却施設はオートメーションとなっていて人の手は使いませんが、リサイクルセンターは人の手で選別するというのが大きな違いです。ふじみ衛生組合でも新しいリサイクルセンターを建設するにあたり、作業員の事故が起きないようにということを念頭に入れながら設計、施工していきます。今後、ホームページ等を通じて適時、適切に情報提供していきたいと思っています。
9	リサイクルセンターは人力を用いて稼働していることに驚いた。オートメーションではなく人力で作業することのメリット・デメリットを公表したほうが良いと思う。ホームページなどに記載したらいい。	配布資料「（仮称）新リサイクルセンターの施設内容について」の7-1と7-2のリサイクルセンター処理フローを見ていただくと、人の絵が描いてあります。いま、技術の進歩により赤外線による選別など、いろんな機械がありますが、まだ人間の手ほど完全に選別ができていない状況です。新リサイクルセンターでも人の手による選別を行うこととします。今後、技術革新により人間の手選別と同様の選別が可能となれば、そのときには検討したいと思えます。
10	これほど大きな規模の施設で3か月程度の試運転では短いのではないか。スケジュールについては、だれがどういう機関を通じてチェックしたのか記載したほうが良いのではないか。	試運転は原則3か月間で行い、ふじみ衛生組合が求めている品質まで高めていただきます。引渡性能試験において、万が一、ふじみ衛生組合が求めている品質・性能を満足できないとなれば、引渡を受けるわけにはいきませんので、おのずと試運転期間が延びることとなります。
11	資料に設計・施工がJFEエンジニアリング株式会社とあるが、事業主体が書いていない。ふじみ衛生組合と記載すべき。設計施工監理も普通書いてあるものだが書いてない。何十年後にPL法の責任がJFEエンジニアリング株式会社にあることになる。きちんと仕分けすべき。	引き渡しを受けた後の品質管理については、瑕疵担保責任というものがあります。引き渡しを受けたからすべてJFEエンジニアリング株式会社の責任はなくなるかというところではなく、20年間のメンテナンス契約もついているので、20年間はしっかりとJFEエンジニアリング株式会社にて面倒を見ていただくこととなります。
12	ふじみ衛生組合インフォメーション2025の3ページに家庭系ごみと事業系ごみの記載があるが、三鷹市内に大きな企業があるはずだが、インフォメーションに記載の数値は少ない気がする。ほかの自治体は自己処理している企業のごみ量も記載している。	政令指定都市などは、一般廃棄物と産業廃棄物の両方の資料を持っています。ふじみ衛生組合は一般廃棄物しか資料を持ち合わせていません。産業廃棄物については東京都へのごみ量の報告義務がありますが、ふじみ衛生組合へは報告はありませんので、三鷹市内の企業のごみ量は把握していません。
13	近隣住民の家庭をどう考えているかの記載がない。近隣住民は一日中ふじみ衛生組合から排出される空気を吸っている。公害が発生してからでは遅い。工場検査の段階で公害が発生することがわかるのか、設計の段階で公害発生がわかるのか、どういう風に止めるか。それを、最初から組み込みなさいというのが私の主張である。作業員が病気にならないとわからない。説明のなかには、公害防止のための方策などが触れられていない。組合は遅れている。事務局の体制がきちんとしていないことを問題としたい。	ふじみ衛生組合としても市民の健康、作業員の健康が第一であるという認識でいますので、周辺環境や作業環境に十分留意して施工していきます。できあがったあとにも周辺環境及び作業環境測定を行い、問題がないことをお互いに共有できればと思います。